

調達・物流段階での環境負荷低減に取り組んでいます。

稲沢工場における生産活動で使用する原材料の購入にあたっては、再生品の利用を推進しています。製品の発送にあたっては、他社製品との混載により、輸送時の環境負荷低減をめざしています。また、本社をはじめ間接部門ではグリーン購入法適合商品の購入を推奨しています。

グリーン物流

製品の輸送・納品においては、中日本物流センター(愛知県一宮市)と東日本物流センター(埼玉県さいたま市)にロジスティック機能を集約し、発注業務の簡略化、帳票処理能力の向上、出荷・納品の迅速化、適正在庫管理システムの運用などにより、効率化を図っています。また、シヤチハタの製品はほとんどが小ロットのものであるため、出荷にあたっては混載によって輸送効率向上を追及しています。



グリーン調達

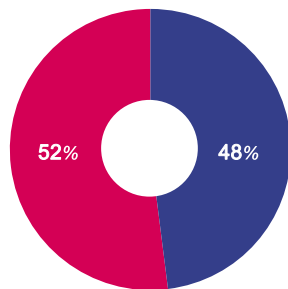
2024年度、稲沢工場においては、原料用のプラスチックと洗浄用のイソプロピルアルコールの再生品の購入を積極的に推進しました。

原料用のプラスチックは254t購入しましたが、うち121tが再生材で、再生材利用率は48%でした。

洗浄用アルコールの全量を再生材料とし、再生材利用率は100%でした。今後とも原材料の購入にあたっては、積極的に再生材を用いていきます。

再生材利用率 (2024年度)

プラスチック



■ 再生材 ■ バージン材

低公害車の導入

シヤチハタでは、社有車の更新にあたっては低公害車の導入を積極的に進めています。2024年度末においては、全105台中104台が低公害車で、導入率は99%でした。

低公害車保有台数：100台 (車両保有台数：101台)

H17年	規制10%減	1台
H17年	規制50%減	1台
H17年	規制75%減	50台
H30年	規制50%減	11台
H30年	規制75%減	37台
H30年	基準適合	4台
該当なし		1台
合計		105台